

高千穂鉄道跡地公園化基本計画

県道7号・天岩戸駅エリア



想定される導入施設

- 県道7号エリア
駐車場・休憩施設・トイレ等
- 天岩戸駅エリア
物販飲食を含む収益施設
観光窓口・歩廊入口等

県道7号エリアに260台程度の駐車場を整備し、この駐車場を拠点としたバスなどによる移動手段を確保することで、市内の観光地を「繋ぐ」機能を創出します。また、天岩戸駅付近に、地場産品や飲食を提供する収益施設などを整備し、「賑わい」「交流」を生み出すエリアとして整備します。

高千穂鉄橋

想定される導入施設

- 鉄橋トラス内
歩廊
- ※鉄橋上部
鉄道走行の車両



鉄橋内部を歩き、下を流れる岩戸川からの約100mの高さやスリルを「体感」し、国定公園や棚田を中空から望む異次元な景色を「体感」することで特別感が味わえるエリアとして整備します。

大平・大平山トンネルエリア

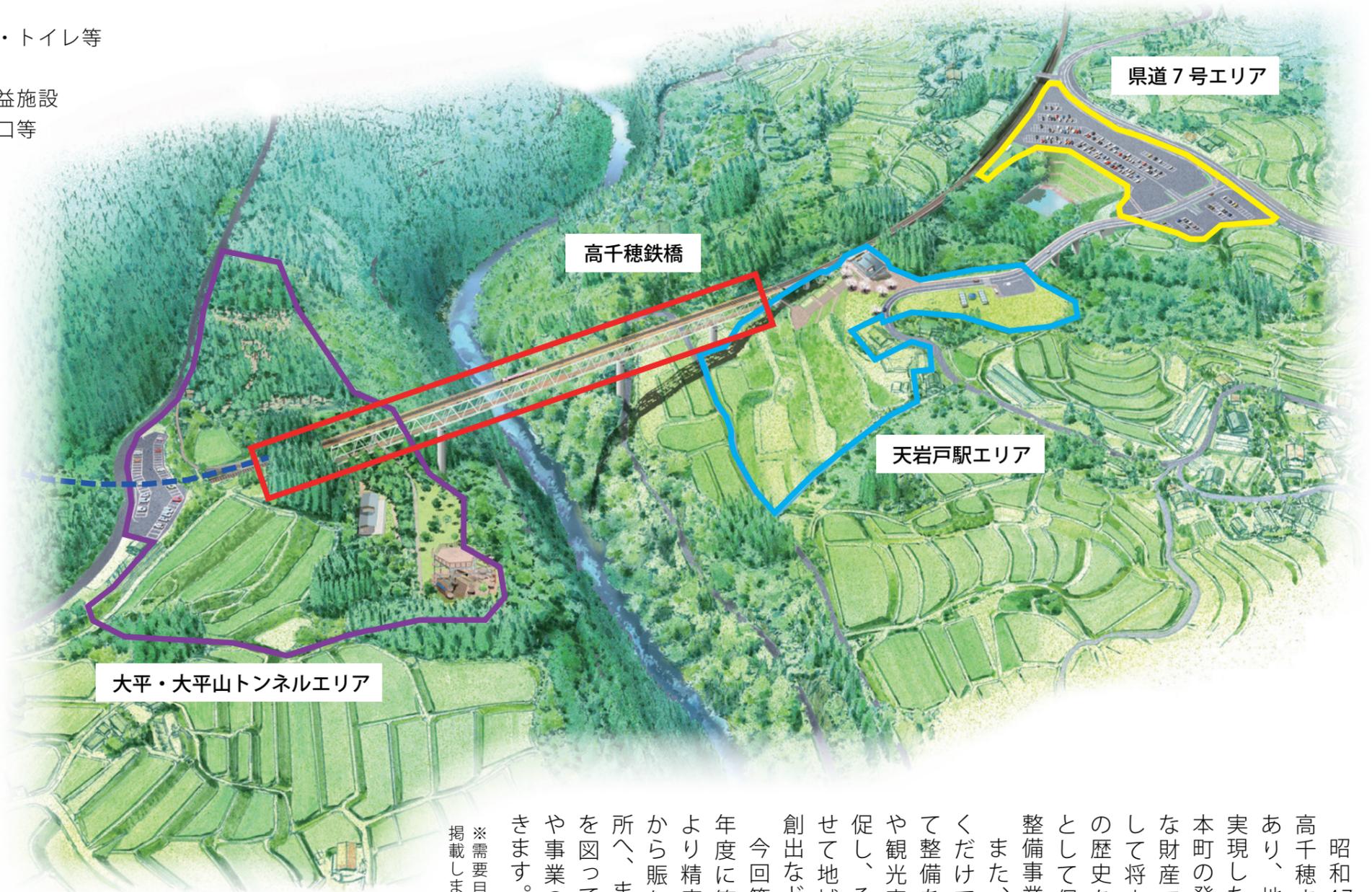


想定される導入施設

- 大平エリア
物販飲食を含む収益施設
歩廊入口・アスレチック施設等
- 天岩戸駅エリア
体験型アトラクション

自然と調和したアスレチックで「遊び」、周辺には自然空間の中で「憩い」を感じる広場を整備します。また、大平山トンネルでは鉄道遺産とプロジェクションマッピング等を活用した近代技術との融合により「異空間」の新しい体験型施設を整備します。

これまで、高千穂鉄橋を中心とした公園整備についての検討を行ってきました。この度「高千穂鉄道跡地公園化基本計画」を策定しましたので公表いたします。



昭和47年に地域住民念願の鉄道が高千穂まで延びたことのシンボルであり、地域の人々の鉄道への思いが実現した証でもある「高千穂鉄橋」は、本町の発展の一翼を担ってきた歴史的な財産です。この鉄橋を鉄道遺産として将来に残していくことで、地域の歴史を記憶の中だけでなく、形として保存していくことが鉄道公園整備事業の重要な役割となります。

また、鉄道遺産として保存していくだけではなく、新たな観光地として整備をすることで周遊観光の促進や観光客の滞在時間の延長・消費を促し、その波及効果を町内に循環させて地域活性化を図ること、雇用の創出なども本事業の目的となります。

今回策定した基本計画は、令和2年度に策定した基本構想をもとに、より精度を上げ策定しました。鉄道から賑わいや遊び、憩いを与える場所へ、また、新たな観光資源への転換を図っていくよう、今後、採算性や事業の効果等を慎重に検討していきます。

※需要目標数や事業費等については、3月号に掲載します。